

あなたなら きっと できる！

Yes, You Can

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 進路通信 第14号 令和2年2月21日発行

★合格体験記★ ～大学進学編～

今回は、大学進学を決めた、高3のN・Sさんの合格体験記です。



私は保育士、幼稚園の先生を目指すことができる四年制大学に進学することが決まりました。ここでは、私が進路を決めるまでの過程を書いていきたいと思います。

私が大学に進学することを決めたのは、中学3年生の時です。その時の私は、人と関わるのが好きだったので、中高の教員を目指していました。そこで通学中など暇をみつけては教員になるまでの道のりや、教員になれる大学を調べていました。高1の時は工業関連の実習に行き、働くことの意義や、自分にあった職業はなにかを学ぶことができました。高2の春に心理学に興味を持ちました。しかし、教員になるという夢は諦めきれなかったため、心理学を学ぶと同時に教員を目指すことができる大学を探し、オープンキャンパスに行きました。その大学にとっても魅力を感じ、ここしかないと思い、同じ大学のオープンキャンパスに10回以上行きました。しかし、その大学の入試が近づくにつれ、本当にここで大丈夫なのか、不安になりました。また、心理学関連の職業で活躍できるかわかりませんでした。そして、何より小さな子供と接することが好きだと思い、保育者を目指すようになりました。そのようなことから、入試直前でしたが、受験をやめました。そして、大阪にある保育専門の大学のセミナー型A0入試を受けましたが、不合格となってしまいました。人生初の不合格を経験したのですが、もう次はないと思い、東京にある第二希望の大学をA0入試で受験しました。試験はエントリーシートと課題、面接でした。課題の内容は子供が遊ぶ場所を観察し、レポートを書くことでした。そこで私は、幼稚部に見学を依頼し、昼休みの間見学させて頂きました。私は自分の考えを文に起こすのは得意ではなく、エントリーシートや、レポートを書く時は先生に見て頂きました。寄宿舎の先生や、専攻科、学年の先生に面接練習を依頼し、何度も見てもらいました。その結果、無事に合格することができ、安心しました。

大学のパンフレットだけでわかるのは一部だけです。気になったらとにかくオープンキャンパスに参加し、その大学の魅力、雰囲気を見るべきです。そして、一番大事なのは、将来のビジョンを見極めることです。将来どんな職業に就きたいのか、そのために何が必要なのか、しっかり考えて、行動することがとても大切だと思っています。

私はこれから始まる大学生活がとても楽しみです。どんな時でも、何があっても、保育者になって子供の笑顔を見たいという夢は絶対に諦めません。